

令和6年度 嘉数小学校の取り組み

1 研究主題

書く活動を重視した表現力の育成
～6年間を通したフォニックス指導を通して～

2 研究主題設定の理由

令和2年度に小学校学習指導要領が全面実施されたことにより、中学年では、週一時間の外国語活動として「聞くこと」と「話すこと [やり取り] [発表]」の2技能3領域を学習し、高学年では、週2時間の外国語科として「読むこと」と「書くこと」が加わり、4技能5領域を学習している。本校では、低学年から週1時間の外国語活動を実施しており「聞くこと」と「話すこと」を中心とした活動を通して外国語に出会い、中学年の学習へとつなげている。これまで小学校高学年の指導対象ではなかった「読むこと」「書くこと」の技能についても、中学校への接続を図ることを重視し、特に、「書くこと」の指導を重点的に行っている。

『宜野湾市小学校外国語活動学習指導要領 第2 小学校での英語の目標及び内容等 エ 書くこと (イ) フォニックスを通して簡単な単語を識別し、正しく書くこと』を参照に、フォニックスの指導を通して、目標である、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーションの素地を養っていきたいと考える。また、低学年から継続してフォニックスの指導を行うことで、高学年の外国語にスムーズにつなげることができると考える。フォニックス指導を通して発音方法を学習することにより、単語のスペルをつづることができるように指導していきたい。そして、書くことのできるようになった単語を用いて、自分の体験や思いを適切に表現できる力を身につけていきたいため、昨年度に引き続き本主題を設定した。

3 主な研究内容

(1) 各学年におけるフォニックス指導とライティング指導内容

学年	指導内容
1 学年	【英語の歌やゲームを通して、英語の発音や文字に出会う】 ・英単語の発音 ・歌 ・ダンス
2 学年	【英語の歌やゲームを通して、英語の発音や文字に慣れる】 ・Chants ・Alphabet song ・アルファベットを体で表現しよう ・文字合わせ
3 学年	【英語の歌やゲームを通して、英語の発音や文字に慣れ親しむ】 ・Jingle ・大文字の形を知る ・大文字を読む ・自分のイニシャルを書く
4 学年	【英語の歌やゲームを通して、より文字に興味を持たせる】 ・フォニックスゲーム ・小文字の形を知る ・小文字を読む ・大文字、小文字の順番を覚える ・形が似たような文字の認識
5 学年	【Sounds and letter を通して、似たような文字を認識し区別して発音する】 ・フォニックスゲーム ・教科書のドリル (Sounds and letter) ・紹介文の書き方や発表の仕方を知る
6 学年	【Sounds and letter を通して、より多くの似たような文字を認識し区別して発音する。】 ・フォニックスゲーム ・教科書のドリル (Sounds and letter) ・紹介文の書き方や発表の仕方を慣れ親しむ

(2) 指導方針（発達段階に応じた系統的な指導により、表現力の向上を図る）

- ①フォニックス指導は宜野湾市が示している内容を進めていく（※指導は5分程度）。
- ②ライティング指導においては、小学校独自のものではなく、中学校でのライティング指導を見据えた4線を使用してALTと共に指導している。
- ③振り返りシートに単元のトピックを3学年からなぞり書き、6学年から写し書きをすることで、書くことへの抵抗をなくすように指導している。

4 学習指導案

第4学年 外国語活動学習指導 Unit 7 What do you want? 4/4

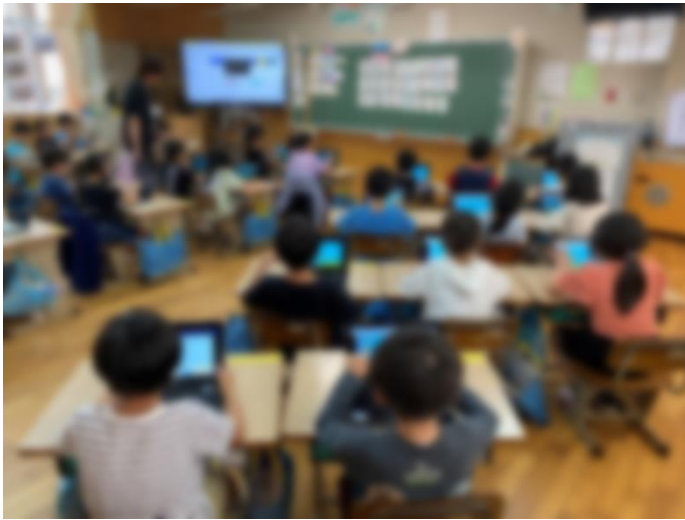
- (1) 本時のねらい 欲しいものを伝える表現を知り、何が欲しいかたずねたり、答えたりすることができる。【知識・技能】【思考・判断】【表現】
- (2) 言語材料 What do you want? / I want a(an) OOO. / fruit parfait / pizza / lunch box
- (3) 展開

過程	○学習活動, 内容, 発問		・予想される児童の反応 「児童の言葉」	●指導上の留意点 ☆評価
	HRT	ALT		
導入 11分	1 はじめのあいさつ 5 Questions What do you want? I want a (an) OOO, please.		<ul style="list-style-type: none"> ・週替わりでリーダーが「How are you today?」「How's the weather today?」「What day is it today?」「What's the date today?」「What time is it?」を問いかけ、児童が答える。 ・画面を見ながら Tt の歌を歌う。 ・めあてを復唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「How are you today?」の質問の後は、「How about you?」と児童がリーダーに質問する。 ●気持ちの乗らない児童の近くで一緒に歌う。 ●はじめのあいさつから学習内容を予想し、めあての言葉を引き出す。
	○授業の進行	○掲示物や PC の確認 ○授業進行の手助け		
	2 Phonics Tt			
	○文字と音の確認 チャンツで確認	○PC 操作, チャンツのリード		
展開 30分	3 めあて 欲しいものを伝えてオリジナルピザを作ろう。		<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを復唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●はじめのあいさつから学習内容を予想し、めあての言葉を引き出す。
	○めあての板書	電子黒板の操作		
	4 Chants What do you want?			
	5 Let's Listen 2 (P29) Let's listen to the skit and connect the words and pictures.			
展開 30分	○児童と一緒に教科書の発音したことを復唱	○机間を回り困っている児童と一緒に発音する	<ul style="list-style-type: none"> ・チャンツに合わせて一緒に歌う。 ・ALT の発音を真似て「What do you want?」「I want a OOO.」を復唱する。 ・ピザの具材を ALT と一緒に確認し、「I want a (an)」のフレーズの確認をする。 ・extra OOO で具材増量の言い方を確認。(応用編) 	<ul style="list-style-type: none"> ●歌詞を手の動作で表し、児童が歌いやすいように誘導する。 ●教科書の英語を聞いて答えることができる。 【知識・技能】 ●机間を回る際に、「What do you want?」「I want a(an) OOO.」と言いながら、児童たちに質問しやすい雰囲気を作る。【思考・判断】【表現】
	6 Activity ピザ屋の店員になりきってピザを作ろう。			
	ゲームの説明の確認	○ゲームの説明		
まとめ 4分	7 ふり返り		<ul style="list-style-type: none"> ・「欲しい具を伝えてオリジナルピザを作ることが出来ました。」 ・「パイナップルピザがあることを知りました。」 ・「オリジナルピザが届いて嬉しかった。」 	<ul style="list-style-type: none"> ☆欲しいもののたずね方、答え方がわかる。 【知識・技能】(行動観察)
	○今日学習したことの発表を児童に促す			
	8 終わりのあいさつ			
まとめ 4分	○授業の進行	○授業進行の手助け		

5 各学年の活動の様子

【低学年】1年:英語の発音に出会う 2年: 英語の発音に慣れる 大文字の形を知る

1年: アルファベット めあて: えいごのもじを知ろう!



タブレットを活用し学習している様子♪
導入として、トピックに関連する歌をよく歌います。1年生は歌と踊りが大好き！
様々なゲームを通して英語を身近に感じながら、トピックに関する英語表現を習得しています。



児童が書いた保護者への手紙♥
外国の文化について学習した後、保護者への感謝の手紙を書きました。ひらがなだけでなく、英語で書くことにも積極的にチャレンジしてくれました。

2年 形 色々な形の英語の言い方を覚えよう!



一本の縄を使って色々な形を探しています。
「できた形は英語でなんて言うんだろう？」と自分で問いを持ちながら色々考えています♪



「四角ができたよ！英語では square だよ！」とできた形を教えてくれています。

【中学年】

3年：英語の発音・文字に慣れ親しむ。 2年生に引き続き Jingle で音に慣れ親しむ。初めて振り返りシートを使用し、毎回単元のトピックのなぞり書きをする。大文字の形や書き方に触れ、自分のイニシャルを書く。



Jingle（動物編）に出てくる動物のクイズを作りました。動物の特徴から英語のヒントを出すので様々な単語に触れる良い機会でした。

★Alphabet の大文字を習う単元では、自分の名前のイニシャルを書きます。自分の名前ということもあり、うれしそうに書く児童の姿があった。

4年：発音練習及びフォニックスゲームを通して音や文字への興味関心を持たせるようにした。 アルファベットの単元では、小文字を中心に学び、似たような形の大文字・小文字を識別できるようにゲームを通して学習した。



アルファベットの文字名と発音が違うことを理解できるように、「Y」なら、「Y」の音から始まる単語の発音をし、正しい絵を選んで○で囲むという作業をタブレットを通して行うことで、五感を通してアルファベットを覚えようとする児童が増えた。

-ピザ屋さん-

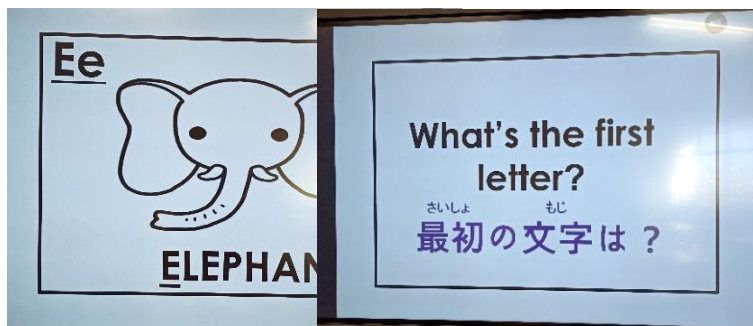
ペアでピザ屋の店員とお客さんになりきり、お客さんは、自分の好きな具材を注文しオリジナルピザを注文する。店員はお客さんの欲しいものをたずねて、タブレット上でピザを作成しお客さんへ送信するという活動を通して買い物で使う英語を使うことができた。

【高学年】◎Sounds and letterを通して、音の違いを認識し区別できるようにする。

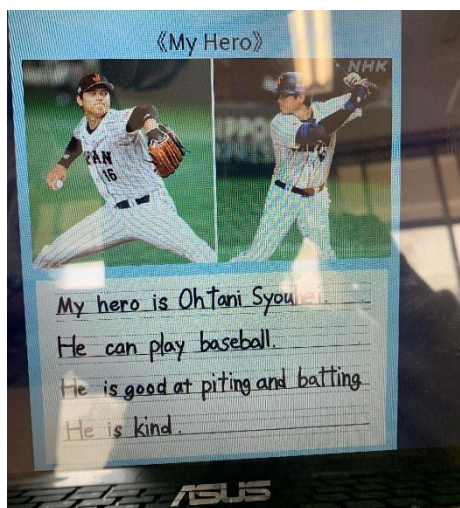
5年生は、“ONE WORLD Smiles”内にある、Sounds and Lettersのコーナー活用の他、下記のような取り組みを行った。



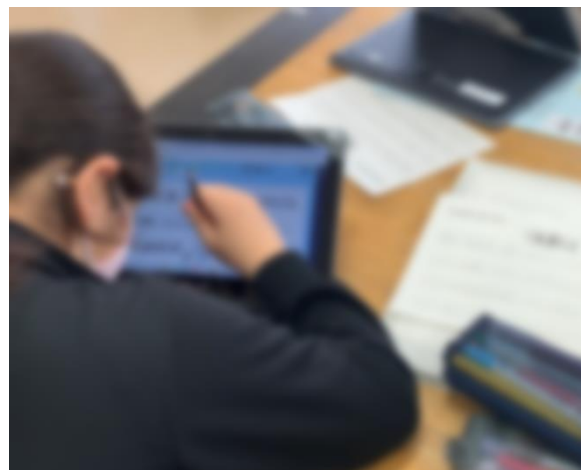
Jingleで基本の音に慣れる。



普段聞きなれている英語の音と文字を一致させるためのクイズ。何度も行うことで、文字への関心が高まり、新しい単語も文字を意識するようになった。

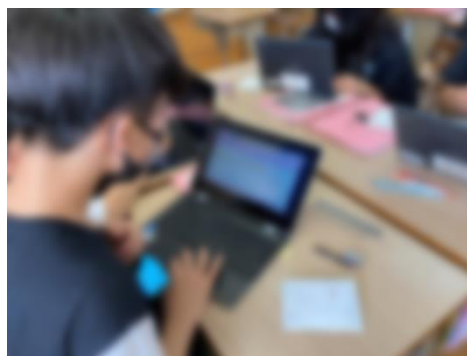
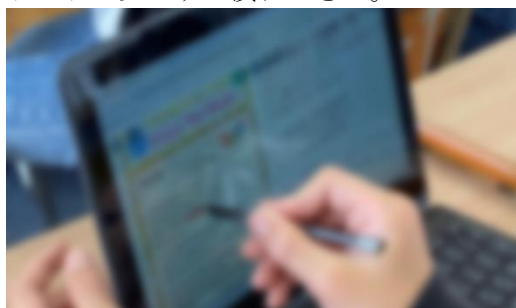


自分のあこがれの人（ヒーロー）をプレゼンテーションしました。タブレットを活用することで、児童が工夫したオリジナルのプレゼンテーション作りを頑張りました。



なぞり書き、単元テスト等細やかなライティング指導を行いました。

6年生は、“ONE WORLD Smiles”内にある、Sounds and Lettersのコーナー活用の他、Phonics Game等を行い、文字指導に関しては単元ごとにプレゼン用のライティングシートを下書き→清書へと丁寧に仕上げることを心がけさせた。プレゼンテーションでは相手を意識しゆっくりはっきりと英語を話すように指導し、聞き手の児童も話し手の言葉を繰り返したり、感想を述べたりと一方通行ではなく双方向のやりとりに少しずつ慣れてきた。





プレゼンテーションではできるだけ実際の状況に近づけて発表するようにし、児童は1年を通し自分の思いを相手に伝えられるよう意識したプレゼンを行えるようになった。

★振り返りシート★

[5 学年] 例えば7時間ある単元では、最初の4時間に単元のトピックのなぞり書きをし、その後2時間に自分でお手本を見ながら書くようにしている。

[6 学年] 最初の第1単元だけは5年生と同じ様に行い、それ以降の単元では、ALTが毎時間書く内容を決め、黒板に書いた1文を児童が書き写すようにしている。

6 成果と課題・対応策 (○成果 △課題 ☆改善策)

低学年

○英語の音の聞き取りが柔軟で得意なこの時期に、沢山の歌やチャンツを聞いたり歌ったりしたことで英語耳を育てることができた。また、ABCダンスやABCソングを通して文字への関心意欲が高まった。

△タブレットの導入機会が増え、より楽しみながら要領よく学習できるようになった反面、夢中になりすぎてしまう児童もいた。

☆学級では、タブレットの使い方のメリハリを確認、早く終わった児童への応用アクティビティの用意があると良い。

中学年

○振り返りシートでのトピックのなぞり書きは、高学年でのライティング授業への抵抗感を減らすことになりに成功している。また大文字小文字ゲームなどを通して文字の形や配列、発音の仕方などを通じて文字への関心が高まった。

△フォニックスゲームは、授業のウォーミングアップも兼ね3~4分としていたが、白熱し過ぎて時間をオーバーすることがあった。

☆フォニックスの問題を前に出てやりたい人が多すぎて、文句が出るクラスがあるため、あらかじめ番号順にするなど公平な対策が必要である。

高学年

○sounds and lettersにおいて、音の識別に慣れ親しむことができた。5年生での文字慣れはクイズやライティングなどを通してかなり効果を上げ来年に上手くつなげられている。

○6年生は単元ごとにプレゼンを行うことで最初から見通しをもって授業に臨むことができた。ライティングに関してはタブレットを使用しスペルチェックや自分の言いたいことを言えるように自分なりに文章構築をしてみたりして、児童自らによる思考を深める機会が増えた。

○5, 6年生は昨年度業者から購入したテストを採用したが、簡単すぎるという児童の声が多くあったため、今年は教材に付随した単元テストを採用した。

○さらに6年生はライティングは少し難しく別途作成し、スピーキングテストも追加して、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングと満遍なく力を伸ばせるように工夫した。

△6年生は始めの段階で、4線を意識して文字を書ける児童が少なく、小文字が苦手な児童も多くいた。

☆5年生の時期に自分の名前、また友達の名前などを記入できるように指導する活動を取り入れる。

7 外部評価

○教育課程特例校（外国語）の指定を受けていることによる効果

① 学校運営協議会 運営委員による評価

- ・授業風景を拝見しても1年生から英語教育を実施することは、楽しみながら英語に親しめるという点で大切である。
- ・1年生から外国人の先生と共に楽しく英語の勉強をすることは子どもにとって非常に貴重な体験である。言語指導や会話の練習、リスニング指導を通して、楽しみながら能力の向上を図ることが期待できる。

② 保護者による評価

- ・保護者アンケートの項目「1年生から英語を勉強することは子どもの英語学習への興味を高めることに役立っていると思うか」について、4点満点中で3.7点と高評価である。